

クジャクの街「久留米」
Q&A

特集 クジャクの羽のしくみ

久留米市鳥類センター

Poppo

ポッポ

Q & A

～クジャクのふしぎ～

Q. JR久留米駅にクジャクがいたって本当？

A. 本当です。

鳥類センターのクジャクが千羽になった記念に“クジャクの街 久留米”をアピールしようと1965年JR久留米駅でクジャクを公開しました。当時、小学2年生の女の子が自分のお年玉を寄附しその寄附で鳥舎を設置したこともあり話題となりました。JR久留米駅の新幹線開通工事で2006年3月に鳥類センターが引きあげるまでの約40年間クジャクたちは駅の名物でした。

Q. クジャクのオスはなぜ羽を広げるの？

A. オスは結婚相手をさがすために羽を広げると言われています。自慢の羽を大きく広げてメスにアピールするのです。

No.1 タンチョウ

No.2 動物園

No.3 フクロウ

●バックナンバー●

ご希望の方は
鳥類センターまで
お問い合わせ下さい。



財団法人久留米市都市公園管理センター久留米市鳥類センター
〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町中央公園内
TEL 0942(33)2895 FAX 0942(33)2896
休園日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)

ホームページ

鳥類センター

検索



羽のしくみ



インドクジャク (オス)

後から見ると・・・

羽を広げたクジャクを後ろから見るとこんな感じです。お尻のかたい羽を起こして目玉もようの羽を広げます。後から かたい羽で支えています。



インドクジャク (メス)

特集動物 クジャク

クジャクの羽のしくみ

現在鳥類センターでは、約90羽のクジャクを飼育して、鳥類センターのシンボルとなっています。

インドクジャク キジ目 キジ科

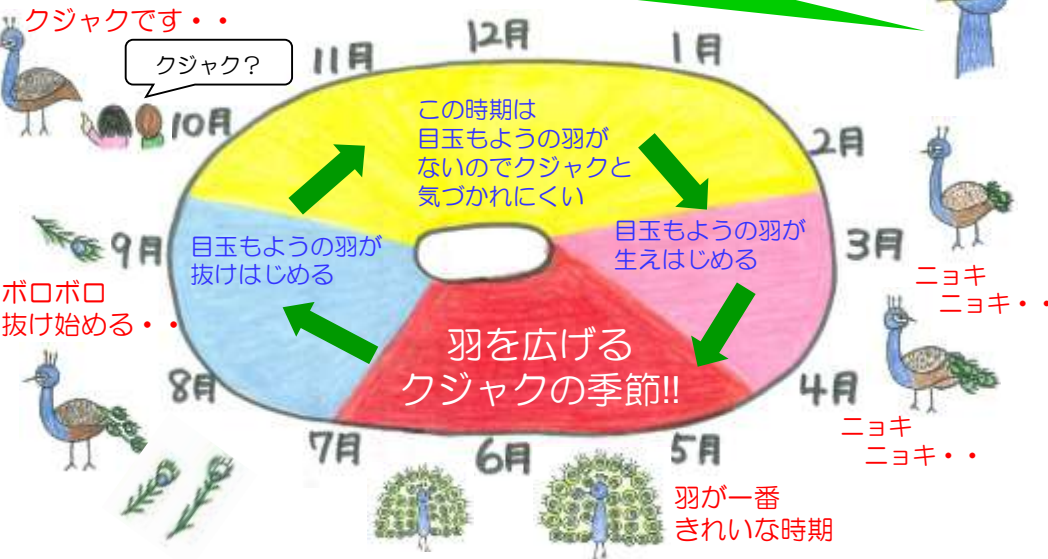
森の中に住んでいて、昆虫や果実などを食べます。スズメやハトの様に長距離は飛ばませんがジャンプ力は強く木の上に飛び乗ったり高いところで休んだりします。



クジャクの街 “久留米”

1954年に久留米市動物園（現 久留米市鳥類センター）が誕生し、同年12月に東京都恩賜上野動物園からクジャクをひとつがい（♂・♀）いただきました。それからどんどん繁殖し10年後には鳥類センターで生まれたクジャクの数が1千羽となり当時「クジャクの街 “久留米”」として全国的に有名になりました。

クジャクはいつ羽を広げるの？



今までに約3,000羽のクジャクが日本全国の動物園や、中国・台湾・韓国などにも旅立ちました!!

